

# “心も体もリフレッシュできました”



## 郡山医療生協から5家族を招待

「公園に行ってはダメ、芝生は危険だから入ってはダメ、草とかさわってはダメ、砂もさわってはダメ!! 娘に毎日のように言っている自分がいました。言う方も疲れます。いわれる方も“分かっている!”と逆ギレ気味になっていました。」(保育士 大和田文恵さん) これがフクシマの現状です。

八戸医療生協は、福島県の医療生協で働く職員と夏休みに入る子どもの親子(家族)を8月1日の八戸三社大祭に合わせて招待し、職員で「リフレッシュ休暇 in 八戸」実行委員会を設けて歓迎しました。



パーデハウスふくち前での5家族18名のみなさん。8月1日～3日までここを拠点に過ごしてもらいました。プールや温泉でも疲れを癒してもらいました。



二十三日町の観覧席で八戸三社大祭の豪華な山車が目の前を通るたびに歓声をあげ、小学生の男の子は進んでトラに頭をかじってもらいました。



2日目は、奥入瀬散策・十和田湖遊覧コース、ソバ打ち体験・ブルーベリー狩り・熊島海岸コース、パーデパークでのプール遊泳・温泉浴コースに分かれて終日過ごしてもらいました。

一日目の夕方からはパーデパークで内田理事長、竹本診療所所長をはじめ職員が参加して50名を超える夕食交流会を持ち、楽しく交流することができました。郡山と八戸を結び絆をよりいっそう深めることができました。



# さるかどした

八戸医療生活協同組合  
〒031-0001  
八戸市類家5丁目38-20  
発行責任者 内田弘志  
Tel.0178-71-3456

### 郡山医療生協のみなさんの感想から

〇青森に行ったことは家族全員初めてでしたが、こんなに至りつくせりの旅行って、今までにあっただけでしょうか。感謝の言葉もありません。産地を気にしないで食べられる食事、地べたに座りこんだり、雑草にふれながらの散歩など、放射能を気にしないで過ごせて、本当に心も体もリフレッシュできました。

(保育士 大和田文恵)

〇まさかここまでして下さるとは思っていなかったもので、びっくり。感謝、感謝の三日間でした。八戸三社大祭の迫力ある山車に圧倒され続け、子どもたちは大興奮し、トラに頭をかじられる度に次男は大泣き。本当にスケールの大きいお祭りでした。

(看護師 工藤由香梨)

〇とても良い思い出になりました。8月1日が二歳の息子の誕生日で、交流会の時にプレゼントを頂き、すてきな誕生日になりました。頂いたプレゼントの車のおもちゃで毎日遊んでいます。

(保育士 佐藤美枝子)

〇三日間、青森の自然に触れ、素晴らしい人たちと出会い、おいしい郷土料理を食べ、幸せをたくさん頂きました。皆様の優しい思い、一生忘れません。いつか皆様に恩返しをしたい。自分に何が出来るか分からないけど、いまは《ありがとう》をお返ししたいと思います。

《郡山医療生協 三浦香》

〇放射線量が高い中で生活する郡山の私たちを励まそうとしてくださる八戸医療生協の皆様、熱意が有難く、ただ感激の連続でした。三日間の心温まる計画、本当に有難うございました。孫たちも大満足で楽しかった様子を両親に報告しておりました。

(菊池昌美・多喜子)

〇笑顔になればしあわせ一步 近づける

(郡山医療生協 伴東美智子)



水浴場楽しむ兄弟

## 八戸医療生協の皆さん おしくいただきましたぁ〜



福島中央市民医療生協のみなさん

八戸医療生協は、福島県内5つの医療生協の職員と家族へ大根、人参など各種野菜を上十三支部の協力で2回にわたってクール宅急便で送りました。写真は福島中央市民医療生協上松川診療所から届いたお礼のニュースの一部です。



夕食交流会はビンゴゲームで大いに盛り上がりました。(左から二人目・下館実行委員長)

実行委員長 下館大史 (生協診療所)

原発事故の収束が進まない中で日々医療や介護の現場で働く郡山医療生協の職員のみなさん、二歳の幼児から中学生までの子どもたちに僅か三日間だけとはいえ思いっきりリフレッシュさせてあげたい、その思いだけでした。後日、郡山医療生協のみなさんから寄せられた感想文を読んで、「リフレッシュ休暇 in 八戸」に取り組んで本当に良かったと実感しました。人をもてなす楽しさが少しわかったような気がします。これからも微力ながら福島のみなさんの支援に取り組みしていきたいと思えます。

## 虹の旗

八戸医療生協では、郡山医療生協の職員と家族を対象に八戸三社大祭に合わせて8月1日から3日までリフレッシュしていたらこうと、職員で実行委員会を作って受け入れ準備をし、引率者を含む5家族18名のみなさんを迎えることができました。

時間もあまりなかったのに正直不安でしたが、実行委員のみんなが積極的で様々なアイデアを出してくれたおかげで、スムーズに準備することができました。5家族の参加申し込みを知った時は、八戸へ来てくれるだろうかとの当初の心配も準備の疲れも吹っ飛んで、実行委員一同ホッとしました。

# いのち、輝くフラメンコのステージを

## 第21回健康まつり 10月14日(日) 八戸市福祉体育館・福祉公民館

いのち、輝くフラメンコ  
健康まつり  
2012年10月14日(日)  
八戸市福祉体育館・福祉公民館  
AM9:00-PM2:30 2012

“がんばろう！八戸”の意気込みで

実行委員長 佐々木康夫

国際協同組合年に相応しい医療生協ならではの健康まつりにしようとの準備をしました。メインゲスト・清野春美さんの「いのち、輝くフラメンコ」で大いに元気をもらい、よりよい社会を築くエネルギーにしましょう。協力券二千枚の普及を目指します。組合員のみなさんのご協力をお願いします。

清野春美さん  
フラメンコの魅力を存分に

キューバ生まれの清野春美さんは、9歳でフラメンコ舞踊団に入り、13歳で初舞台を踏み、92年にはフラメンコ東京大会で優勝し、21年前からは独立して多方面で活躍中です。

前川原チカ子さん  
オープニングで八戸の魅力を歌う

健康まつりのオープニング・ステージを飾る前川原チカ子さんも地元の出身です。「新曲・みちのく雑文」など期待に胸が膨らみます。



子どもの広場が待っていますよ。

### 生活相談コーナーから

橋場弁護士による法律相談を希望される方はできるだけ事前の予約をお願いします。  
【医療生協本部・71-3456】

◆公民館二階和室で新「原爆と人間展」を開きます。全国各地で好評の原爆展です。ぜひ、ご鑑賞下さい。

## 組合員活動あらかると



三中支部 7月26日、福祉公民館で支部総会。36名参加。内田新理事長が国際協同組合年と医療生協について報告しました。



東支部 7月29日、大沢温泉で支部総会と交流会。40名参加。中村副理事長を講師に遺産相続についての学習が好評でした。

一中支部に新班が誕生 8月22日、20人で「あけぼの班」結成。班長は古川征洋さん。9人がこの場で新組合員に。

健康で長生きはみんなの願い  
健康づくり月間のご案内  
10月1日～11月30日  
2ヶ月間で健康的な生活習慣を

健康づくり委員会では参加者を募っています。詳しくは医療生協本部へ(TEL71-3456)

## 原水爆禁止世界大会に参加してきました

初めて参加しました。広島も初めてでした。開会総会から閉会総会まで参加する中で、やはり世界中の多くの人々が核兵器を無くすまいと行動し続けていることを実感でき、勇気をもらいました。「核兵器のない平和な未来を創ろう」として多くの人と集えたことは幸せでした。

現地のガイドの話聞きながら、安心な世界を創るために改めて努力を続けたいと思いました。カンパ、ありがとうございます。



医療生協本部 佐々木美音緒

## 小笠原寿雄さん、グランドチャンピオンに

### 第8回医療生協グラウンドゴルフ大会

8月18日(土)、新井田公園で今年も300名もの参加者が熱戦を繰り広げました。曇り空から青空へと気温も上昇するなかで、熱中症など体調を崩された人もなく、A、B二つのグループに分かれて勝敗を競いました。ホールインワンも多く、接戦の末、Aグループでは加藤シゲさん、Bグループでは小笠原寿雄さんが1位となりました。二人による優勝決定戦の末、小笠原寿雄さんが第8回大会のグラウンドチャンピオンの栄冠を手に入れました。



グループ一位の加藤シゲさんの小笠原寿雄さん



### グループ上位入賞者

- Aグループ ①加藤シゲ(鮫) ②長根勉(福地) ③岩崎武雄(田面木) ④上山博子(根岸) ⑤岩藤トミ子(多賀台) ⑥中村初三(かもめ)
- Bグループ ①小笠原寿雄(下長) ②松岡信一郎(労金) ③野沢惣四郎(大館) ④木村直(是川) ⑤佐々木肇(鳳盟) ⑥中西興子(柏崎)

## 組合債 ご協力のお願い(組合債募集要項)

- 目標額 組合債 1億5千万円
- 単位 1口10万円 ※上限 組合員個人1千万円/世帯2千万円
- 預入期間 2年間
- 利率 年利 1.5%
- 募集期間 2012年7月～2013年3月
- 問合せ先 八戸医療生協本部 TEL0178-71-3456

☆☆☆☆☆☆

## 診療所休診日

(毎月最後の土曜日)

月	休診日
9月	29日
10月	27日
11月	24日

◇10月から火曜日の午後は在宅訪問診療のため休診となります。

## 新入職員紹介



玉川 敦子 ヘルパー

まだ新人ですが、利用者様に必要とされるヘルパーを目指し、頑張り、努力して行きたいと思っております。

## ◆シリーズ「古玉農」の辻説法⑬◆ 意地悪

昨年、大津でおきた中学生いじめ事件、社会性も帯びて話題騒然。頭に来た大学生が「ハンマー」で教育長さんをなぐったり。ここまで何も取り上げず、放って置いた当事者の無能ぶりに、怒りを覚えるのは当然です。仕掛けた中学生の底知れない意地悪さ！「意地悪」を手元の辞典で引いてみました。「わざと人を困らせたり、つらくあたったりすること。またはそうするさま」 びたり。先日、国会を通った消費税増税法案。物の流通過程で「税」が行ったり(納付)来たり(還付)。業者が還付の手続きをとろうとしたら、あなたは今まで「アメ」をしゃぶって来た(簡易課税)から、この「ケーキ」還付はお預けですと、意地悪ともとれる規程。相手は法律ですから、勝負にならず、泣き寝入り。脱税ではないんだから、もう少し素直さがあってもよいのにと思ったことがしばしば。職業柄思うことは、立法者は意地悪なのかしらとも。

いい意味で、人間生活に「意地悪」が刺激となり、精神の感性が向上するようになればいいと思う。好循環になりますように！